

## ◆ 「しるし」の意味

## しるし(印)

抽象的なものを表すための具体的な形。(ある概念を象徴するもの。「平和の—の鳩」「純潔の—の白い衣装」)

## 象徴(しょうちょう)

抽象的な思想・観念・事物などを、具体的な事物によって理解しやすい形で表すこと。また、その表現に用いられたもの。シンボル。「平和の—」「現代を—する出来事」

類語：たとえ、比喩(ひゆ)

- ☞ 「このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。」ヨハ 20:30
- ☞ 「わたしはファラオの心をかたくなにするので、わたしがエジプトの国でしるしや奇跡を繰り返した・・・」出 7:3
- ☞ 「わたしの栄光、わたしがエジプトと荒野で行ったしるしを見ながら、十度もわたしを試み、わたしの声に聞き従わなかった者はだれ一人として、・・・」民 14:22
- ☞ 「すなわち、あなたが目撃したあの大なる試み、あなたを導き出されたあなたの神、主のしるしと奇跡、力ある御手と伸ばされた御腕をもってなされたことを思い起こしなさい。」申 7:19
- ☞ 「主の僕の魂に入り、不思議な業としるしをもって／恐るべき王たちに対抗した。」知 10:16

## ◆ テキストの分析

何回も読んだことのある箇所や良く知っている聖書の箇所を読むとき、細かくて、「当たり前」と思われるような質問をすることによって、今まで気が付かなかったことを発見することができます。

1. 花嫁と花婿の名前は。どうして。
2. 誰が招待されましたか。
3. ぶどう酒が足りなくなったというのは、どういうことだったのでしょか(その理由や可能な結果)。
4. 誰がぶどう酒がなくなったことを発見しましたか。
5. ぶどう酒がなくなったことが分かるためにどこにいなければならなかったのでしょうか。
6. ぶどう酒がなくなったことに気がついたマリアは何を感じ、何をしましたか。
7. イエスは、召し使いに何をするようにと言いましたか。
8. 石の水がめは何に用いられましたか。
9. どうしてイエスは、空になったぶどう酒の入れ物ではなく、石の水がめを使用しましたか。
10. どうして石の水がめは空でしたか。
11. 石の水がめがいくつありましたか。足りない七つ目の石の水がめは、どこにありましたか。
12. 石の水がめには何リットルの水が入りましたか。合計は。
13. 召し使いは、どこから水を汲みましたか。
14. 召し使いはイエスについて何を考えたのでしょうか。どうして聞き従ったのでしょうか。
15. どんなぶどう酒が出されましたか。そんな量が必要だったのでしょか。
16. このぶどう酒がどこから来たか、誰が知っていましたか。
17. 結果的に、どうなりましたか。

「イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。」ヨハ 2:11

## ◆ イエスがカナで行った最初のしるしの意味

18. 聖書において婚礼は、何を象徴しますか。

☞ 「恐れるな、もはや恥を受けることはないから。うろたえるな、もはや辱められることはないから。若いときの恥を忘れよ。やもめのときの屈辱を再び思い出すな。あなたの造り主があなたの夫となられる。その御名は万軍の主。あなたを贖う方、イスラエルの聖なる神／全地の神と呼ばれる方。」イザ 54:4-5 (イザ 62,1-5)

☞ 「行って、エルサレムの人々に呼びかけ／耳を傾けさせよ。主はこう言われる。わたしは、あなたの若いときの真心／花嫁のときの愛／種蒔かれぬ地、荒れ野での従順を思い起こす。」エレ 2:2

- 愛の契約を結ぶことによってイスラエルは神の民となり、神はイスラエルの神となりました。そのときから、イスラエルと神の関係は、花嫁と花婿の関係に例えられて、婚礼は、神とイスラエルが結ばれた契約の象徴となりました。

19. 契約に基づいたイスラエルの神との関係は、どんな状態にありましたか。

☞ 「だが、妻が夫を欺くように／イスラエルの家よ、お前はわたしを欺いたと／主は言われる。」エレ 3:20

☞ 「告発せよ、お前たちの母を告発せよ。彼女はもはやわたしの妻ではなく／わたしは彼女の夫ではない。彼女の顔から淫行を／乳房の間から姦淫を取り除かせよ。」ホセ 2:4

☞ 「彼女は愛人の後を追っても追いつけず／尋ね求めても見いだせない。そのとき、彼女は言う。「初めの夫のもとに帰ろう／あのときは、今よりも幸せだった」と。ホセ 2:9

☞ 「主がホセアに語られたことの初め。主はホセアに言われた。「行け、淫行の女をめとり／淫行による子らを受け入れよ。この国は主から離れ、淫行にふけているからだ。」ホセ 1:2

☞ 「主は再び、わたしに言われた。「行け、夫に愛されていながら姦淫する女を愛せよ。イスラエルの人々が他の神々に顔を向け、その干しぶどうの菓子も愛しても、主がなお彼らに愛されるように。」ホセ 3:1

20. イエスの時代に、イスラエルの神との関係は、どんな状態にありましたか。

☞ 「偽善者たちよ、イザヤは、あなたたちのことを見事に預言したものだ。『この民は口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。人間の戒めを教えとして教え、むなしくわたしをあがめている。』」マタ 15:7-9

☞ 「そして、人々に教えて言われた。「こう書いてあるではないか。『わたしの家は、すべての国の人の／祈りの家と呼ばれるべきである。』／ところが、あなたたちは／それを強盗の巣にしてしまった。」マコ 11:17

☞ 「鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」ヨハ 2:16

- イスラエルは神と結んだ契約に忠実ではありませんでした。神の愛を裏切ったイスラエルについて預言者ホセアは、「この国は主から離れ、淫行にふけている」と語ります。(ホセ 1:2) また、イエスは、「この民は口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。」(マタ 15:7-9) という言葉をもってこの状況を表しました。
- カナの婚礼の時にぶどう酒がなくなったゆえに、結婚したばかりの花嫁と花婿の関係は大きな危険に直面したということは、イスラエルは神を愛せなくなって、この関係は死にかかっていたということを象徴的に表しています。

21. イエスがぶどう酒を供給したというのは、何を表していますか。

☞ 「イエスは言われた。「花婿と一緒にいる間、婚礼の客は悲しむことができるだろうか。しかし、花婿が奪い取られる時が来る。そのとき、彼らは断食することになる。」マタ 9:15

- ご自分自身こそが真の花婿であるということです。

22. 新約聖書において花嫁は、誰のことを表しているのでしょうか。

📖 「そこで、天の国は次のようにたとえられる。十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出て行く。」 マタ 25:1

📖 「また、教会がキリストに仕えるように、妻もすべての面で夫に仕えるべきです。夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。」 エフェ 5:24-25

- 教会（一人ひとりの信者）が花嫁です。

23. イエスが与えたぶどう酒の質(最高)と量(必要以上、溢れるほど)は何を表しますか。

📖 「知恵は家を建て、七本の柱を刻んで立てた。獣を屠り、酒を調合し、食卓を整えはしためを町の高い所に遣わして／呼びかけさせた。「浅はかな者はだれでも立ち寄るがよい。」意志の弱い者にはこう言った。「わたしのパンを食べ／わたしが調合した酒を飲むがよい浅はかさを捨て、命を得るために／分別の道を進むために。」 箴 9:1-6

📖 「見よ、その日が来れば、と主は言われる。耕す者は、刈り入れる者に続き／ぶどうを踏む者は、種蒔く者に続く。山々はぶどうの汁を滴らせ／すべての丘は溶けて流れる。わたしは、わが民イスラエルの繁栄を回復する。彼らは荒された町を建て直して住み／ぶどう畑を作って、ぶどう酒を飲み／園を造って、実りを食べる。」 アモ 9:13-14

📖 「王笏はユダから離れず／統治の杖は足の間から離れない。ついにシロが来て、諸国の民は彼に従う。彼はろばをぶどうの木に／雌ろばの子を良いぶどうの木につなぐ。彼は自分の衣をぶどう酒で／着物をぶどうの汁で洗う。彼の目はぶどう酒によって輝き／歯は乳によって白くなる。」 創 49:10-12

📖 「わたしたちは喜び、大いに喜び、／神の栄光をたたえよう。小羊の婚礼の日が来て、花嫁は用意を整えた。花嫁は、輝く清い麻の衣を着せられた。この麻の衣とは、／聖なる者たちの正しい行いである。」それから天使はわたしに、「書き記せ。小羊の婚宴に招かれている者たちは幸いだ」と言い、また、「これは、神の真実の言葉である」とも言った。」 黙 19:7-9

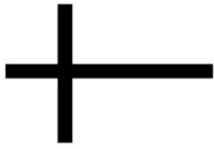
- イエスが、今まで皆が飲んだぶどう酒よりも美味しいぶどう酒、しかもそれを溢れるほど供給した場面を見た弟子たちは、イエスが約束されたメシアであり、イスラエルと神との関係に新しい命を吹き込むことによって、それを回復させ、今までよりも深い関係に導くために来られた方であるということが分かりました。
- イエスは、最初のしるしによって表したご自分の使命を果たして、ご自分の血を流すことによって新しい契約を結び、イスラエルだけではなく、全人類に神と今まで考えられなかったほど素晴らしい関係に生きる可能性を与えてくださいました。
- 以上の意味で、イエスの時から、人間は愛によって神と結ばれて、神と親しい交わりのうちに生きることのできる、新しい時代が始まったわけです。
- イエス・キリストがカナで足りなかった七つ目の（ご自分の血・命で満ちた）水がめです。この「水がめ」から、私たちは、美味しいブドウ酒ではなく、神の愛と命を「組む」ことができます。

#### ◆ マリアとイエスの関係：ヨハ 2,4（マコ 1,24；5,7）

「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。

τί ἐμοὶ καὶ σοί, γύναι  
何、どんな 私に と あなたに 婦人、女

- 女性であるあなたは、なぜ私のところ（男性の部屋）に（来た）
- 私はあなたに何をしなければならぬのですか。
- 婦人よ、私はあなたとどんな関係がありますか。



「イエスは母に言われた。  
「婦人よ、  
わたしとどんなかわりがあるのです。  
わたしの時はまだ来ていません。」ヨハ 2:4

「イエスは、母に言われた。  
「婦人よ、  
わたしとどんなかわりがあるのです。  
わたしの時はまだ来ていません。」ヨハ 2:4

人は言った。「ついに、これこそ／わたしの骨の骨／わたしの肉の肉。これをこそ、女（イシャ）と呼ぼう／まさに、男（イシム）から取られたものだから。」創 2:23

「お前と女、お前の子孫と女の子孫の間にわたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕きお前は彼のかかとを砕く。」創 3：15

「アダムは女をエバ（命）と名付けた。彼女がすべて命あるものの母となったからである。」創 3：20

「しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれられた者としてお遣わしになりました。」ガラ 4:4

「死が一人の人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。」1 コリ 15:21

「そのおとめの名はマリヤと叫んだ。」ルカ 1:27

1. マリアは、新しいエバとして、全人類の母です。
2. メシアを生み出したマリヤは、全世界にメシアを与えた神の民、イスラエルの象徴です。
3. イエスが最初のしるしを行った場所や、十字架のもとに、イエスの弟子たちと共にいたマリヤは、教会の象徴です。

「また、天に大きなしるしが現れた。一人の女が身に太陽をまとい、月の足の下にし、頭には十二の星の冠をかぶっていた女は身ごもっていたが、子を産む痛みと苦しみのため叫んでいた。また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、火のように赤い大きな竜である。これには七つの頭と十本の角があつて、その頭に七つの冠をかぶっていた竜の尾は、天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げつけた。そして、竜は子を産もうとしている女の前に立ちほだかり、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖ですべての国民を治めることになっていた。子は神のもとへ、その玉座へ引き上げられた。女は荒野へ逃げ込んだ。そこには、この女が千二百六十日の間養われるように、神の用意された場所があつた。」黙 12：1、6

「彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。」使 1：14